

# 平成30年度受診の流れ(被扶養者・任意継続者用)

特定健診・特定保健指導対象者

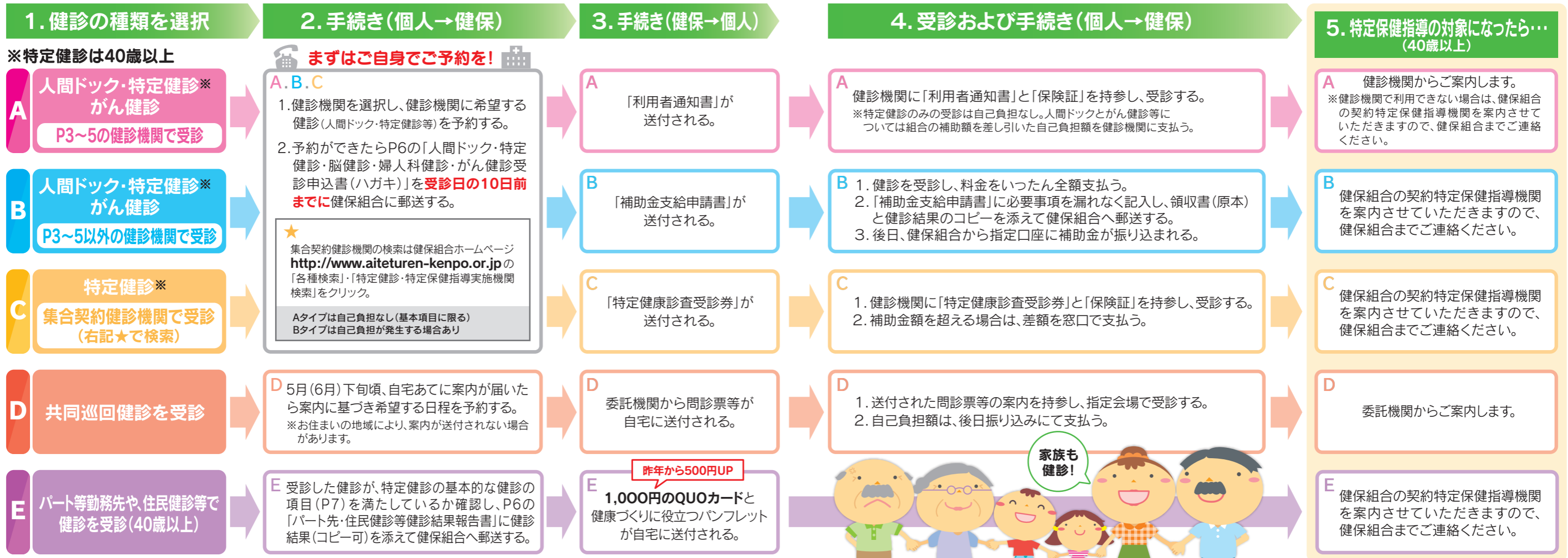
40歳以上75歳未満  
(年度途中で75歳に達する人を含む)

次の方は、今年度の特定健診・特定保健指導対象者ではありません。

- ①平成31年3月までに被保険者資格を喪失される方
- ②妊娠婦その他の厚生労働大臣が定める者(刑務所入所中、海外在住、長期入院、介護施設、有料老人ホーム等告示で規定)

被扶養者・任意継続の方については、下記の「健診種類一覧」を参考に健診を受診してください。P3~5に掲載されている契約健診機関は、健診メニューを自由に選択していただくことができ、費用も健診機関窓口で自己

負担額をお支払いいただくだけなのでおすすめです。お近くに契約健診機関のない場合は、補助金支払い制度もご利用いただけますので、年度内に1回は健診を受けていただきますようお願いいたします。



4月1日から翌3月15日まで受診してください

▶ **健診種類一覧**

補助回数	健診の種類	補助対象年齢	補助額(自己負担額)	概要	要
いずれか年度内1回	特定健診 (がん健診含まず)	40歳以上	補助上限は7,020円まで。	問診・身体計測(身長・体重・腹囲)・血圧・血液検査(肝機能・脂質・血糖)・尿検査 平成20年4月から法律により、健保組合に義務付けされた健診です。	
	人間ドック	30歳以上	健診費用の7割。 補助上限は21,000円まで。	〈主な検査〉 循環器・脂質・肝機能・胃がん検査・大腸がん検査等、健診機関によって多少の違いがあります。 ※健保組合指定項目(胃健診、腹部超音波検査、眼底検査のうち2項目以上の受診が必須)を満たしていないと補助対象外になります。 ※40歳以上の方は特定健診項目の受診が必須です。	
	共同巡回健診	【女性】 30歳以上 【男性】 40歳以上	自己負担額 【女性】基本健診料3,000円+振込手数料 【男性】基本健診料4,000円+振込手数料 (受診者オプション検査については自己負担)	〈主な検査〉 循環器・脂質・肝機能・胃がん検査・大腸がん検査・乳がん検査(女性)・子宮頸がん検査(女性)・前立腺がん検査(男性:受診者オプション)等 人間ドックに近い項目を各地域の公共施設等で巡回健診を実施します。 ※他の健保との共同事業のため、地域を限定して実施していますのでご了承ください。	
それぞれ年度内1回	乳がん健診(超音波・マンモグラフィー・視触診)	30歳以上	健診費用の7割。補助上限は超音波2,000円、マンモグラフィー2,500円、視触診700円まで。	視触診検査は、超音波またはマンモグラフィーと併用実施の場合のみ補助。 (視触診検査単独実施の場合は、補助対象外です)	人間ドック等に含まれているなど他の健診で受診した場合は補助対象外です。
	子宮頸がん健診	20歳以上	健診費用の7割。補助上限は2,000円まで。	医師による細胞採取について補助。(自己採取は補助対象外です)	
	胃がん健診(X線または内視鏡)	30歳以上	健診費用の7割。補助上限は7,000円まで。	特定健診のオプション、または単独での実施の場合に補助。	
	大腸がん健診(便潜血検査2日法)	30歳以上	健診費用の7割。補助上限は1,000円まで。	特定健診のオプション、または単独での実施の場合に補助。	
	肺がん健診(X線またはCT)	40歳以上	健診費用の7割。補助上限は4,200円まで。	特定健診のオプション、または単独での実施の場合に補助。	
2年度内1回	脳健診	30歳以上	健診費用の7割。補助上限は15,000円まで。	頭部MRI・MRAの併用実施の場合のみ補助。	

●当該年度内に補助対象年齢に達する方が補助の対象です。 ●組合指定項目を満たさない場合、または保険診療(自己負担1~3割)で受診している場合は補助対象外です。